

## ヒト由来エンタロキナーゼ、再組換え

Cat. No. NATE-0227

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** エンタロペプチダーゼ（エンタロキナーゼとも呼ばれる）は、十二指腸の細胞によって生成され、人間や動物の消化に関与する酵素です。これは、摂取した食物が胃から移動する際に腸腺（リーベルキューンのクリプト）から分泌されます。エンタロペプチダーゼはトリプシノーゲン（ゼイモゲン）をその活性型であるトリプシンに交換し、膵臓の消化酵素のその後の活性化を引き起こします。エンタロペプチダーゼの欠如は腸の消化障害を引き起こします。

**別名** エンタロキナーゼ; エンタロペプチダーゼ; EC 3.4.21.9; 9014-74-8

### 製品情報

<b>種</b>	人間
<b>由来</b>	CHO細胞
<b>形態</b>	10 mMリン酸ナトリウム、pH 7.5 + 1 mM塩化カルシウムから凍結乾燥されました。
<b>EC番号</b>	EC 3.4.21.9
<b>CAS登録番号</b>	9014-74-8
<b>分子量</b>	108.7 kDa
<b>活性</b>	タイプI、> 20ユニット/mgタンパク質
<b>緩衝液</b>	バイアルを開封する前に遠心分離してください。水に再構成し、濃度を0.1-1.0 mg/mlにします。ボルテックスしないでください。この溶液は2-8°Cで最大1週間保存できます。長期保存する場合は、作業用アリコットを-20°Cから-80°Cで保存することをお勧めします。
<b>機能</b>	ペプチダーゼ活性; スカベンジャー受容体活性; セリン型エンドペプチダーゼ活性